

焼却炉の導入により医療廃棄物の適正処理を目指す

スリランカにおける環境汚染や健康被害の改善へ

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ジー・ピー・ワン(群馬県渋川市、石坂浩一代表取締役)が提案する「医療廃棄物焼却処理案件化調査」(スリランカ国)を採択しました。

医療廃棄物は、人が感染する恐れのある病原体が含まれ、感染症の汚染源となる可能性があるため、適切に処理されることが重要ですが、スリランカにおいては、その大半が都市ごみと共に開放投棄されており、住民への健康被害や環境汚染が問題となっています。

提案製品である焼却炉 MAY-200 (時間当たり処理量 180kg) は、医療廃棄物焼却炉と高度排ガス処理設備で構成されており、日本のダイオキシン類対策特別設置法に対応しているため、廃プラスチックや感染性廃棄物の処理に適しています。シンプルで操作性・メンテナンス性が良く、また耐久性にも優れています。



医療廃棄物



焼却炉 MAY-200

本案件化調査では、スリランカ中央環境局、中部州政府などをパートナーとし、焼却炉 MAY-200 の現地適合性を調査し、将来的にはスリランカでの焼却炉の製造・販売を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施しており、2014 年度補正予算分並びに 2015 年度第 1 回分は本年 3 月に公示を行いました。94 件の応募のうち 32 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考: (プレスリリース) 案件化調査 2014 年度補正予算 / 2015 年度第 1 回公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部 中小企業支援調査課 山田 (案件担当)、野村 (広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp